

No34 ワープロ発展 0 2

義高 互

AI、ワープロ、ドローソフトを開発提供して子供の制作活動の支援を行い、グラフコンクールの制作物を作った事は提示したかと思います。

そのワープロについて提示したいと思います。

そのコンセプトは「文字の読み書きが難しい子供も文が書ける」支援機器です。

実際、このワープロ君を活用して文字が打てたり、文を作れたりしています。

個人向けに改良、調整することでいろんな制作が出来るような機器として活用できます。

基本的には普通のワープロとしてキーボードでも文字が打てます。

制作初期にはこれで字を覚えさせる支援を想定しました。文字遊びで、言葉と文字を一致させるゲームができます。

次にキーボードを使わないでソフトキーボードで文字を打たせる機能を組み込みました。

今では標準的な機能ですが、1990年当時はまだ珍しかったです。それでも字を使いこなすことが難しい子供もいました。その場合はその子に応じて絵を選んで文章を打てる機能を付けました。

使用している動画を見てください。

手足に麻痺があり支援が必要な場合もありました。

マウスで便表な選択が出来ない場合もあります。

マウスに代わり、タッチパネルよりも個に対応した入力機器を開発し、学習や制作活動の支援機器として活用しました。

「うごけらくがき」というドローアプリ用の入力機器も開発しましたが、またそれは別に提示します。標準的なバージョンのワープロ君は何度が改定して今も使えるようにしています。

子供たちが機器の支援で自分で文章を打って制作に参加することができました。

通常学校でも LD で文字の入力や認識が難しい場合も活用することができました。

一般社会でも文字がきれいに書けない人もワープロ

文をつくる 活動の支援

支援のためのアプリ

AI ワープロ ドローアプリ



「文字の読み書きが難しい時も

文が書ける」支援機器

ワープロアプリ「わーぶろくん」

子供たちが機器の支援で字を打てる
読み書きLDでも活用できる

「漢字が苦手な社会人が
ワープロで文を打つ時代」



「文字を扱いきれない子供も

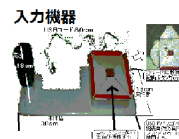
わーぶろくんで文が打てる」

わーぶろくん機能

- ・普通のワープロとしても使える
- ・文字を覚える遊び
- ・絵で文字が打てる
- ・個人向けにアレンジして最適に

口の支援を活用して綺麗に文章を打っている時代です。個人向けに調整ができれば教育や制作にも効果的に活用し、教育にも効果を上げることができると思います。「漢字の苦手な社会人がワープロで漢字を打てる」時代です。

「文字を扱いきれない子供がいても、わーぷろくんで必要な文章を作成する」時代でもあると思います。



訪問教育にも活用

①楽しく創作表現活動をする。

②意欲を持ち活動を継続する。

個別の目標

A君：継続して活動に取り組み、様々な項目で色々なものを描くことができる。

B君：自分が描いたもの他者が描いたものに関心を持ち、継続して活動ができる。

C君：自作のタッチパネルを利用し、描画活動に関心を持ち一定時間持続できる。

(2) 本時の流れ

生徒の活動	△指導上の留意点、○支援、◎評価
1 はじめのあいさつ	△常に生徒教師が対面するよう配慮する。
2 先生の話聞く	△場所(教室配置図参照) 教師ーポジション1 生徒ーA1B1C1 △これからの活動の説明を理解させる。 ○教卓の1号ノートパソコンを使用し、デモン ストレーションソフトや教師の師範操作、話 を聞かせて本時の活動の理解を支援する。 ○前時まで生徒が作ったCGを見て関心意欲を 高める。 ◎本時の活動を理解し、関心を持ったか。 ◎自分のやりたい活動が見つかったか。
3 場所を移動し 自分の使う ソフトと機器を選ぶ	△場所(教室配置図参照)生徒教師の対面を配慮 教師ーポジション2 生徒ーA2B2C2 ○お絵かきかワープロか選択したら、教師が補 助をし、関心の高いソフトのバージョンを選 択させ、ソフトを立ち上げる。 △生徒に個人専用ソフトに限定せず選ばせる。 ○C君はタッチパネルのついた4号機、マウス のついた5号機のパソコンを選択させる。 ◎自分がやりたいソフトの種類やバージョン を教師と選ぶことができたか。 ◎本時活動への意欲を持つことができたか。



END